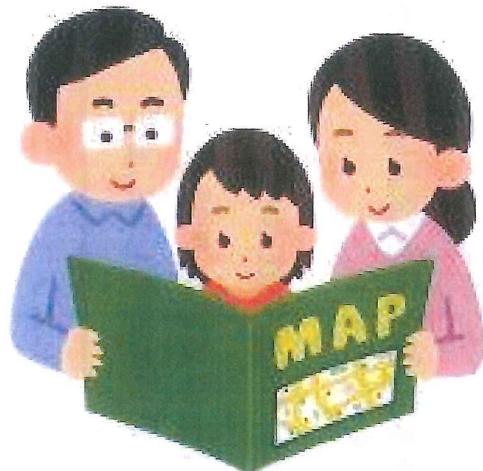


## 自然災害から

# 命を守る3つの行動



## 2. 備える！

3日間、生き延びる。

- 最低でも、3日分の食料をローリングストック法で備えよう！
  - 非常持ち出し袋には必要なものを入れて、玄関か寝室に置こう！
- ※ローリングストック法…普段から多めに食料を買っておき、使った分を買い足す方法。



警戒レベル		新たな避難情報等
5		緊急安全確保※1
~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~		
4		避難指示※2
3		高齢者等避難※3
2		大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1		早期注意情報 (気象庁)

## 3. 逃げる!!

逃げることをためらわない。

- 危険な場所にいたら、警戒レベル4までに必ず避難しよう！
- 町が避難指示を発令した場合、指定した避難所や安全な親戚、知人宅などへ避難！
- 避難に時間のかかる人(お年寄りや障がいのある人)は避難指示発令前に自主的に避難！

裏面もご覧ください

## あなたがとるべき避難行動は 避難行動判定フロー

まず、ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認しましょう。

※1 ハザードマップは、大雨による浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色し示した地図です。

※2 ハザードマップは、お住いの地区ごとに配布しています。また、町ホームページに町内の地区ごとの全マップを掲載しています。

自宅がある場所は、危険箇所として色が塗られていますか

いいえ

避難は、不要です

はい

大雨による浸水や土砂災害の危険があるので、原則として自宅以外の場所に避難が必要です

例外もあります

※浸水の危険があっても、次の全て満たす場合は、自宅にとどまり安全を確保することも可能です

① 家屋が河川などの近くに建っていない

(家屋が河川などの近くに建っている場合、増水した水の勢いで家屋が倒壊したり、地面が削られ建物ごと崩落してしまうおそれがあります)

② 浸水想定の浸水深よりも高い建物の階に避難できる

③ 水が引くまで飲水・食料など備えが十分にある

注意: 土砂災害の危険がある場合は、上記によらず早めに避難しましょう

安全な親戚や知人宅に避難しましょう

いいえ

地区公民館などの一次避難と町公共施設などの二次避難所があります

町が発令する避難情報に留意ください

避難する際は避難ルートに注意し、安全を確認しましょう

裏面もご覧ください